

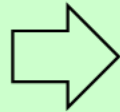
省力化と適切な栽培管理によるマンゴーの品質・収量の向上、規模拡大

経営体の概要

事業実施前

基幹作物：(施設)マンゴー 0.5ha、
メロン、インゲンマメ 0.2ha

経営面積：0.7ha



事業実施後

基幹作物：(施設)マンゴー 1.0ha

経営面積：1.5ha (0.5haは、経営者の父親がさとうきびを栽培)

取組の経緯と経営転換のポイント等

本経営体は、平成3年に就農し、平成16年からは法人化して、現在、従業員4名とともに経営に取り組んでいる。就農時には、農地にかんがい施設がなく、近くの古井戸からポンプで揚水し、かん水を行っていた。

しかし、事業によってかんがい施設が整備されたことで、マンゴーの栽培指針に基づいたかん水が可能になるとともに、かん水作業に必要な労働時間や経費の節減が図られるようになったことで、余剰時間を栽培管理等に費やすことができるようになり、単収・品質の向上につながった。併せて、規模拡大したことにより、マンゴーの生産量が事業実施前に比べて増加し、多様な販路により売上も増大した。

営農改善のポイント

①省力化

かんがい施設により、ハウス10aのかん水に要する時間は、約90分から約6分へと大幅に短縮した。また、かん水に掛かる経費についても、かんがい施設整備前には10a当たり約50万円程度掛かっていたものが、整備後は5万円以下となるなど、1/10以下まで節減された。



②機械・施設の整備

補助事業を活用し、専用の選果場を設けることで、品質管理の徹底が図られるようになった。

また、六次産業化のための加工施設を自前で整備し、マンゴーの全生産量の10%をジュースやアイスに加工して、直売所やインターネットで販売している。



③流通・販売の工夫

マンゴーの販売形態としては、百貨店等との契約販売を主とし、安定した売上を確保している。また、マンゴーの端境期には、HPやFacebookを活用してPR活動を行っている。



たわわに実った糖度の高いマンゴー

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：宮古島市

受益面積：9,156ha

事業期間：平成21年度～

事業目的：畑地かんがい、用水改良

主要工事：地下ダム2箇所

副貯水池1箇所

揚水機場1箇所

用水路 55km

位置図（沖縄県）



<局問い合わせ先>

沖縄総合事務局

農村振興課 地域資源係

電話：098-866-1652

(内線：83335)

(平成29年調査時点)